

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

米粉が日本の食を救う!? 米粉について考えてみよう!

- 米粉用米の需要量は、平成29年度までは全国で2万トン程度で推移していましたが、米粉の特徴を活かし、グルテンを含まない特性を発信する「ノングルテン米粉第三者認証制度」や「米粉の用途別基準」の運用が平成30年から開始され、米粉の需要量が拡大（令和4年約4.5万トン）しています。
- 主食用米の需要が年々減少する中で、新たな用途に使用できる米粉の需要拡大は非常に重要なことから、米の消費拡大の取組の一環として米粉の普及にも取り組んでいるところです。
- みなさんが主食として食べているお米の消費量は、どんどん減っていて、使われない水田が増えています。
- そこで、使われていない水田で米粉用のお米を作り、外国産の小麦粉ではなく、国産米粉を使ったパンや麺を食べることで、食料自給率を上げることが期待できます。
- 宮崎県においても米粉の生産が行われており、あらためて米粉の魅力について考えてみたいと思います、宮崎県拠点では、米粉の冊子を作成しました。

知っちゃう?

米粉の魅力!



●米粉の冊子を発行しました

宮崎県拠点のWEB
サイトから印刷で
きます。

トビックス



●毎年6月は「食育月間」です

食べることは生きることであり、健康な身体と心を育むことにつながります。栄養バランスや食品ロス削減などについて、正しい知識を身につけましょう。

●国会で審議されていた食料・農業・農村基本法の一部を改正する法律案が、5月29日の参議院本会議で可決、成立しました。

高千穂町 編

参事官が各地を訪問



本年4月に宮崎県拠点に着任した菊池地方参事官は、県内各地を訪問して、今後の施策に役立てるため、生産者や事業者の方々と意見交換を行っています。

5月9日には、高千穂町を訪問し、訪問先のみなさんから、担い手の確保、農地の維持、資材高騰の影響などのご意見をいただきました。



高千穂町の棚田



左:農事組合法人高千穂かわのぼり代表の福嶋信二さん



右:繁殖牛経営農家の田邊貴紀さん



左:株式会社杉本商店代表取締役社長の杉本和英さん



子牛対策等の周知活動を行いました！



宮崎県拠点では、宮崎県及び宮崎県畜産協会と連携し、5月9日から22日にかけて、子牛市場が開催された6市場（宮崎中央、小林地域、南那珂地域、都城地域、延岡、高千穂）で、優良和子牛生産推進緊急支援事業、優良繁殖雌牛更新加速化事業などの周知活動を実施しました。

セリ開始前にチラシを配布したり、研修会やブースで説明を行い、現場のご意見をお聞きしました。6月は児湯市場で実施する予定です。

支援内容は？

優良和子牛生産推進緊急支援事業

和子牛の平均価格が発動基準を下回った場合に、飼養管理向上に取り組む和子牛生産者に対し、発動基準に応じた奨励金（1万円/頭・2万円/頭・3万円/頭）を交付します。

- ▶肉用子牛生産者補給金制度に登録済で、令和6年4月～令和7年3月に販売された和子牛（黒毛和種、褐毛和種、無角和種、日本短角種及びこれらの交雑牛）が対象です。（自家保留・本人取りした子牛は対象になりません。）
- ▶黒毛和種の平均価格は、四半期毎のブロック別平均価格で計算します。

<発動基準、必要取組数、奨励金単価>

発動基準	黒毛和種	60万円	58万円	57万円
	褐毛和種	55万円	53万円	52万円
	その他の肉専用種	35万円	33万円	—
必要取組数		2つ	3つ	4つ
奨励金単価		1万円/頭	2万円/頭	3万円/頭

- 本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

- 宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

6月を水無月と言いますが、旧暦の呼び名で、現在では7月頃の雨が上がった時期を表していたそうです。これから梅雨入りし、大雨や台風などによる災害が心配される季節となります。また、湿度が高く気温も上がることから、農作業における熱中症対策も必要です。雨対策をして、楽しく安全な暮らしに繋げていきたいものです。(r)